

● ● ● 6月28日(金曜日)

12:40 開会の辞

第20回ホルモンと癌研究会 会長 三好 康雄

12:50 ランチョンセミナー I [共催]日本イーライリリー株式会社

座長：山下 啓子(北海道大学病院 乳腺外科)

分子標的治療薬が変えつつある乳癌ホルモン療法 of 概念

演者：佐治 重衡(公立大学法人 福島県立医科大学 医学部 腫瘍内科学講座)

14:20 ワークショップ I 「前立腺・乳腺 I」

座長：鈴木 貴(東北大学大学院医学系研究科 病理検査学分野)

WS I-1

前立腺がんにおけるPSA遺伝子発現を担うアンドロゲン誘導性enhancer RNA群の性状

加藤 茂明(医療創生大学大学院理工学研究科)

WS I-2

新規フラボノイド誘導体による前立腺癌細胞のAR活性阻害とドセタキセル・カバジタキセル耐性前立腺癌細胞に対する抗腫瘍効果

内藤伶奈人(金沢大学大学院 医薬保健学総合研究科 泌尿器集学的治療学)

WS I-3

メタボロミクスにて検証したアンドロゲンシグナリングが乳癌代謝競合に与える影響

浅野 有香(大阪市立大学大学院 乳腺・内分泌外科)

WS I-4

乳がんにおける新規タモキシフェン耐性予測因子TRIM47のNF- κ Bシグナル活性化メカニズム

東 浩太郎(東京都健康長寿医療センター研究所 老化機構研究チーム)

15:20 ワークショップⅡ「乳腺Ⅱ」

座長：山下 啓子(北海道大学病院 乳腺外科)

WSⅡ-1

糖尿病/DM患者における乳癌組織でのGLP-1受容体発現とその臨床的意義についての検討

滝上なお子(東北大学病理診断学分野)

WSⅡ-2

耐性機序から捉えた乳癌微小環境変化に伴う内分泌活性動態

後藤 航(大阪市立大学大学院 乳腺・内分泌外科)

WSⅡ-3

エストロゲン感受性乳癌細胞におけるCDK4/6阻害薬による癌幹細胞制御効果とその作用機構

紅林 淳一(川崎医科大学乳腺 甲状腺外科学)

WSⅡ-4

ホルモン療法耐性獲得への膜型エストロゲン受容体の寄与

佐藤 祐太(東北大学大学院 医学系研究科 分子機能解析学分野)

16:30 スポンサーセミナーⅠ 【共催】ファイザー株式会社

座長：笹野 公伸(東北大学大学院医学系研究科 病理診断学)

低酸素反応をはじめとする代謝異常から見る腎腫瘍の新分類

演者：長嶋 洋治(東京女子医科大学病院 病理診断科)

17:30 特別講演Ⅰ

座長：林 慎一(東北大学大学院医学系研究科)

無傷な癌抑制因子を利用した新たなホルモン依存性乳癌治療薬の開発

演者：片桐 豊雅(徳島大学先端酵素学研究所 ゲノム制御学分野)

18:30 懇親会(2階 若竹)

● ● ● 6月29日(土曜日)

9:00 ワークショップⅢ 「乳腺Ⅲ」

座長：紅林 淳一(川崎医科大学 乳腺甲状腺外科学)

WSⅢ-1

がん遺伝子パネル検査を施行した転移再発乳癌 29症例の検討

萩尾加奈子(北海道大学病院 乳腺外科)

WSⅢ-2

エストロゲン受容体陽性・HER2陰性乳癌における腫瘍浸潤リンパ球の予後因子としての意義の検討

藤本由希枝(兵庫医科大学 乳腺・内分泌外科)

WSⅢ-3

乳癌における増殖能別の腫瘍浸潤リンパ球分画の検討

藤本由希枝(兵庫医科大学 乳腺・内分泌外科)

WSⅢ-4

血清CCL5値の予後因子としての意義の検討

藤本由希枝(兵庫医科大学 乳腺・内分泌外科)

10:10 スポンサーセミナーⅡ [共催]アストラゼネカ株式会社

座長：三好 康雄(兵庫医科大学病院 乳腺・内分泌外科)

*ESR1*変異を考慮したホルモン受容体陽性転移性乳癌の治療戦略

演者：加々良尚文(大阪大学医学系研究科 乳腺内分泌外科学)

11:10 特別講演Ⅱ

座長：野口眞三郎(兵庫県立西宮病院)

内分泌療法感受性の鍵を握る新規ER α 転写活性制御メカニズム

演者：太田 智彦(聖マリアンナ医科大学大学院医学研究科・応用分子腫瘍学)

12:20 ランチョンセミナーⅡ

[共催]中外製薬株式会社

座長：紅林 淳一(川崎医科大学 乳腺甲状腺外科学)

HER2陽性早期乳癌の治療戦略

演者：林 直輝(聖路加国際病院 乳腺外科)

13:20 閉会の辞

第20回ホルモンと癌研究会 会長 三好 康雄